



自衛隊栃木地方協力本部

高根沢高校インターンシップを支援 ～自衛隊 陸・海・空の就業体験～



1日目：栃木地本本部でのインターンシップの様子



2日目（熊谷）：集団行動訓練体験の様子



2日目（熊谷）：玉井曹長と記念撮影



2日目（熊谷）：インターンシップの様子



2日目（熊谷）：ベットメイク体験の様子



2日目（熊谷）：迷彩服姿で記念撮影

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）は、7月8日（月）から11日（木）の4日間、高根沢高校のインターンシップ支援を宇都宮駐屯地、北宇都宮駐屯地、熊谷基地及び栃木地本本部で実施した。

1日目、本部広報室による海上自衛隊体験（手旗信号等）
2日目、熊谷基地広報室による航空自衛隊体験（集団行動等）
3日目、北宇都宮駐屯地広報室による陸上自衛隊航空機体験（航空機見学等）
4日目、宇都宮駐屯地広報室による陸上自衛隊体験（救急法等）

栃木県には、航空自衛隊基地がないこともあり、特に航空自衛隊の募集に悪戦苦闘中である。空自の魅力伝えたいと、担当した広報官は、県外にある熊谷基地に協力を求めた。熊谷基地は教育のメッカであり、集団行動訓練体験において、教育職種玉井空曹長の迫力のある号令に生徒たちは、気が引き締まった様子であった。また、めったに入ることのできない熊谷基地司令室見学では、秋本基地司令が自ら進んで生徒たちにフレンドリーに話しかけていた。その後も、ベットメイク体験、AR授業体験、作業服試着体験等が行われ、生徒たちに航空自衛隊の魅力を知ってもらうことができた。

4日間のインターンシップを通じて、生徒5名に陸・海・空の自衛隊の魅力を伝えることができ、一人は、「来年、絶対に自衛官の試験を受けます」と、熱く語ってくれた。

大田原地域事務所は、「今後も、インターンシップを支援し、学校との連携と信頼関係を強化し地域密着型の広報に邁進していく」としている。



2日目（熊谷）：司令と記念撮影



3日目（北宇都宮）：ヘリの前で記念撮影



3日目（宇都宮）：戦車の前で記念撮影